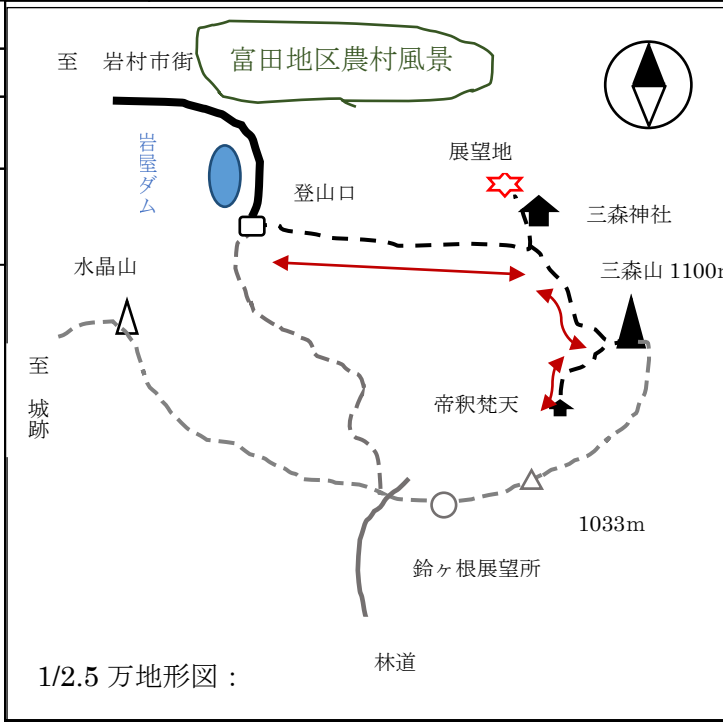


5 月度 榎会 個人 山行報告書		報告者	佐溝直彦	参加 メンバー	CL:油井武 SL 佐溝直彦
		報告日	5/15		
山城	美濃南部の山	山行日	17年5月9日(火)		
山名	三森山 1100m				

山行目的	次年度 春例会の下見	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------------	--------------------

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局



天候: 曇り (黄砂模様)  
刈谷年金基金 P 発 6:25 ~ 松平 IC ~ 足助・稲武  
經由 ~ 岩村町・岩屋ダム P8:40 着  
登山スタート 9:00 ~ 三森神社・展望地 10:00  
- 10:30 ~ 山頂 11:10 - 11:30 ~ 帝釈梵天 ~ 三森  
神社 ~ 岩屋ダム P12:35

下山後  
岩村城跡へ移動・見学 ~ 歴史資料館へ移動・  
見学 ~ 岩村本通りへ移動 女城主の蔵元見学  
後 15:20 発 ~ 往路を辿り ~ 刈谷着 17:15

〈山行報告〉次年度の春例会の候補の1案として東濃岩村町の三森山と岩村城跡等を下見してきた。

確認事項は①ルート・タイム等の確認 ②イワカガミの開花具合 ③「農村風景日本一」の展望地

④城址の歴史に触れる ⑤古い街並みや銘酒の蔵元を訪ねる。・・を狙いとして行動した。

結果は①はダム P から山頂往復は極めて易しく高齢者にも全く問題ない、山頂~鈴ヶ根展望所経由でダムに下  
るコースも問題ない(岩村山の会・岡田氏談)。登山道は神社への参拝道で33体の小さな菩薩石仏が山頂下ま  
で道端に置かれ登山者を見守っておりホッとする山道である。休憩含む総所要タイムはゆっくりで3.5~4H。

②イワカガミは咲き始めた所、15日頃が見頃と思う(年により1W位前後する)この時期山桜・ツツジ・  
すみれ等新緑に映えて雰囲気は良い③展望地には方位盤が新設・ベンチもあり眺望も良く休憩に最適地、今日  
の遠望は黄砂で近くの笠置山が見えただけ、山頂では南西に猿投山が視認できたが冬の遠望が利く時は南南西  
に西尾の町が見える(前述岡田氏談)との事。④城跡で立派な石垣を見上げたり本丸跡に立つと戦国の栄華に  
想いを馳せることができるので是非訪れたい所、歴史資料館もガイド付きで内容が濃い⑤本通りは一方通行で  
又店のPもないので国道沿いの駐車場を利用するのがよい、女城主蔵元の見学や銘酒の購入(5月やまびこ祭  
へ差し入れ予定)後帰路につく。岩村は公共交通機関(JR・明智鉄道)でも行けるが乗換あり2.5~3H要す。

おすすめのポイントは①歩き易く、ゆく先々にイワカガミの群落を迎えて  
くれ、日陰も多く眺望にすぐれている。また、多くの植物群(タチツボス  
ミレ等約700種、植物学者三好学の故郷)に恵まれている。②下山後の観  
光スポットが沢山ある。③幕末の偉人達の学問所『昌平こう』(後の東大)  
の学頭を務めた佐藤一斎について、知ることの出来る歴史資料館がある。  
〈リーダー所見〉命が有ったら来年も、もう一度訪ねたいところ、三森山  
とその麓であった。思うに、日本で一番標高の高い(700m)お城に寝起き  
した人達は、朝夕この山に登って身体と思考を鍛え上げであろう。その結  
果、大儒学者佐藤一斎を生み、その弟子三千人ともいわれ全国に多くの有  
能な人材を送り出した。その弟子達によって幕末から維新にいたる我が国  
の歴史的な大転換が成し遂げられた・・・云々は山を降りて後から知った。

《フリースペース》

展望地より農村風景を望む

さなげやま むこうに西尾 三河湾  
かすんで見えず またくるときね

確認  
(リーダー)  
油  
17/5/18  
井  
作成  
(報告者)  
佐  
17/5/15  
溝